

第10回がんシリーズ

『がんの臨床応用に向けての新規モダリティ』

日時：2025年9月4日(木) 10:30~16:20

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール (WEB配信併用)

コーディネーター：

大谷 直子 大阪公立大学大学院 医学研究科 病態生理学 教授

保仙 直毅 大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

開催趣旨：近年、従来のがん治療法に加え、多様な新規がん治療モダリティの開発が飛躍的に進んでいます。CAR-T療法の成功により細胞医薬が注目を浴びています。また、免疫応答に影響を与える腸内細菌を制御する新たなファージ療法や、mRNA創薬の技術革新により、がんワクチンや新規免疫治療の可能性が広がっています。さらに、局所的に高エネルギーを集積させる光濃縮技術を活用した微量タンパク質の測定や、新たな治療アプローチが期待されています。たとえば、抗体エンジニアリング技術の進歩により、二重特異性抗体や抗体薬剤複合体のような新世代の抗体医薬の開発が加速しており、がん治療の選択肢が広がっています。加えて、デザイナーエクソソームは、次世代のドラッグデリバリーシステムとしての実用化が期待されるだけでなく、免疫チェックポイント阻害剤の効果を向上させる可能性も示唆されています。本セミナーでは、これらの最先端技術を紹介し、より効果的な個別化医療を目指したがん治療の未来像を探ります。

10:35 - 10:50 **はじめに**

大谷 直子 大阪公立大学大学院 医学研究科 病態生理学 教授

10:50 - 11:30 **「がんに対する遺伝子細胞治療の現状と展望」**

保仙 直毅 大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

11:30 - 12:10 **「メタゲノム解析を基盤とした移植片対宿主病に関連する腸内細菌の制御」**

藤本 康介 大阪公立大学大学院 医学研究科 ゲノム免疫学 准教授

東京大学医科学研究所 附属ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野 特任准教授(兼)

- 昼食 -

13:20 - 14:00 **「光濃縮システムによる低侵襲ハイスループット体液マーカー計測法の開発」**

飯田 琢也 大阪公立大学大学院 理学研究科 教授/LAC-SYS研究所 所長

14:00 - 14:40 **「mRNA創薬とがん治療への応用」**

位高 啓史 大阪大学 感染症総合教育研究拠点(CiDER) 臨床生命工学チーム 教授

- 休憩 -

14:50 - 15:30 **「抗体エンジニアリング技術を用いた抗腫瘍抗体の創出」**

櫻井 実香 中外製薬株式会社 研究本部バイオ医薬研究部 兼

トランスレーショナルリサーチ本部プロジェクト推進部 副部長・主席研究員

15:30 - 16:10 **「デザイナーエクソソームによる免疫制御とその品質管理」**

華山 力成 金沢大学 ナノ生命科学研究所 教授/医学系 免疫学 教授

16:10 - 16:20 **おわりに**

保仙 直毅 大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

■参加費：無料 ■定員：会場参加 100名、WEB参加 500名

セミナー終了後、交流会(名刺交換会)を開催します。是非、会場にお越し下さい。

■申込方法：参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい

<https://www.senri-life.or.jp/event/3395/>

■お問い合わせ：千里ライフサイエンス振興財団 セミナーX3事務局

E-mail: ono-2024@senri-life.or.jp

TEL：06-6873-2006

セミナーX3
Webサイト

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西